

2017年3月期 第1四半期

決算概況

JKホールディングス株式会社（9896）

代表取締役社長 青木 慶一郎



2016年8月10日



スマイルが生まれる住まい

JK Holdings Co., Ltd.

J Kホールディングス(株)について 3ページ

- | | |
|-------------------------|---|
| (1) 会社概要 | 4 |
| (2) 事業概要と主なグループ企業 | 5 |
| (3) グループ中核企業ジャパン建材の事業紹介 | 6 |
| (4) リフォームDEPOTの取り組み | 7 |

2017年3月期第1四半期決算概要 8ページ

- | | |
|-------------------------|----|
| (1) 事業環境 - 合板市況と為替レート推移 | 9 |
| (2) 業績サマリー | 10 |
| (3) 業績の推移 | 11 |
| (4) 事業別の売上高・営業利益推移 | 12 |
| (5) 主要連結子会社の業績推移 | 13 |
| (6) 連結B/S、キャッシュ・フローの状況 | 14 |

補足資料 15ページ

- | | |
|--------------|----|
| (1) 環境対応ビジネス | 16 |
| (2) 環境への取り組み | 17 |
| (3) 女性の活躍推進 | 18 |



J Kホールディングス(株)について

企業理念

「快適で豊かな住環境の創造」

「快適で豊かな住環境の創造」を企業理念に掲げ、日本の住環境を少しでもよくするため、すべてのお客様に貢献することを目指しています。

特に、商売上ではお客様が儲かってこそ我々も初めて儲かるという観点から、「すべての取引先のお役に立つ事を目指す」をモットーに、共存共栄の精神で経営に当たっています。社内研修でも会長をはじめ、役員が必ず講義の時間を持ち、社員に対して経営理念の共有化を心掛けています。

基本情報（2016年6月30日現在）

商号	J Kホールディングス株式会社 (JK Holdings Co.,Ltd.)	創業	1937年10月
代表者	代表取締役社長 青木 慶一郎	所在地	東京都江東区新木場1-7-22
資本金	3,195百万円	事業の内容	① 総合建材卸売事業 14社
従業員数	2,574名		② 合板製造・木材加工事業 9社 ③ 総合建材小売事業 28社 ④ その他 16社

(2) 事業概要と主なグループ企業

住宅建材の「専門商社」であるジャパン建材(株)を中核会社に、住宅関連企業をグループ傘下に展開する純粋持株会社です。

(2016年6月30日現在)

総合建材卸売事業

ジャパン建材(株)	(株)KEY BOARD
通商(株)	クロカワベニヤ(株)
JKI(株)	(株)マルキユウ銘木
(株)ミトモク	(株)銘林
物林(株)	(株)ジェイ・ハート
他 非連結子会社 4社	

合板製造・木材加工事業

(株)キーテック	北海道プレカットセンター(株)
日本パネフォーム(株)	(株)宮盛
秋田グルーラム(株)	(株)群馬木芸
(株)プレックコンポーネント	(株)アイチキャビネット
他 関連会社 1社	

総合建材小売事業

(株)マルタマ	(株)ブルケン東日本
(株)キタモク	(株)COMFILL
INTERRA Japan(株)	(株)ハウス・デポ・プラス
(株)ハウス・デポ関東	他 非連結子会社 8社
トップ建材(株)	関連会社 12社



その他

建設工事業

(株)エムジー建工	(株)ハウスデポ・セキ
JKホーム(株)	
(株)ブル・エンジ	他 関連会社 1社

倉庫及び運送業

(株)JK CARGO
(株)ジェイケー物流

資材取次業

インテラUSA社
他 非連結子会社 3社

フランチャイズ事業

(株)ハウス・デポ・ジャパン

旅行・保険代理業

JKスマイル(株)

住宅ローン仲介業

(株)ハウス・デポ・パートナーズ

不動産賃貸業

ジャパン建材沖縄(株)

(3) グループ中核企業ジャパン建材(株)の事業紹介

ジャパン建材(株)は一軒の住宅を建てるために必要とされる、さまざまな部材・資材の販売（卸売）を主な事業内容としています。



・素材

合板・木材・石膏ボード・断熱材

・外装・サッシ

外壁材・屋根材・サッシ・玄関ドア・エクステリア

・内装材

床材・建具・収納・階段

・水廻り

キッチン・ユニットバス・洗面化粧台・トイレ

・省エネ機器

太陽光発電・蓄電池・HEMS・エコキュート

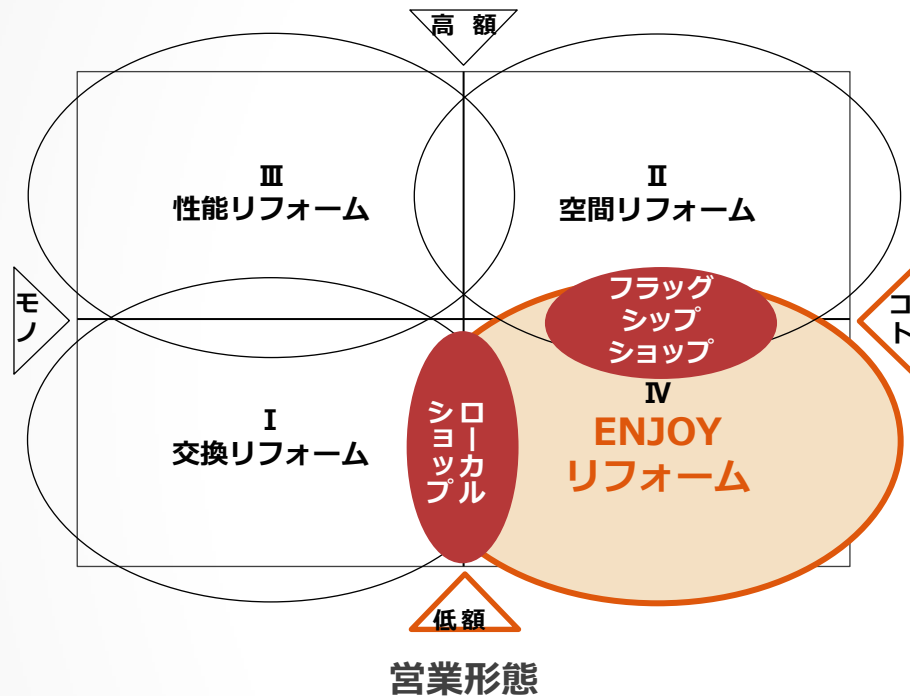
…etc.



(4) リフォームDEPOTの取り組み

2015年4月より新たにリフォーム推進課が発足し、販売店様のリフォーム事業拡大に向けてVC(ボランタリーチェーン)形態のショールーム作りを行っている。
現在は全国に12店舗のショールームがあり、2020年までには50店舗を目標に拡大していく。

リフォーム業界での位置づけ及び2つのビジネスモデル



商圈

- <リフォームのマーケットサイズより商圈シェアの目標値を設定> ※弊社独自の考え
- ・住宅リフォーム（設備の維持修繕費）
 - ・当事業の出店戦略 商圈人口**20万人～30万人**に1店舗
(店舗プロット規則【半径20キロ】とします)
- ①消費エリアとしての確なサイズ
 - ②消費者の行動範囲を考える＝移動距離的な問題＝遠いほどマイナス
⇒注力商圈範囲半径3キロ
 - ③地域性が重要＝地域密着＝口コミの範囲＝地域での安心感
 - ④販売店様の業態変化にマッチした商圈ボリューム
- 目標：リフォームDEPOTは、**地域リフォームシェアの3%～5%を狙う。**
(店舗規模・配置人数など考慮)

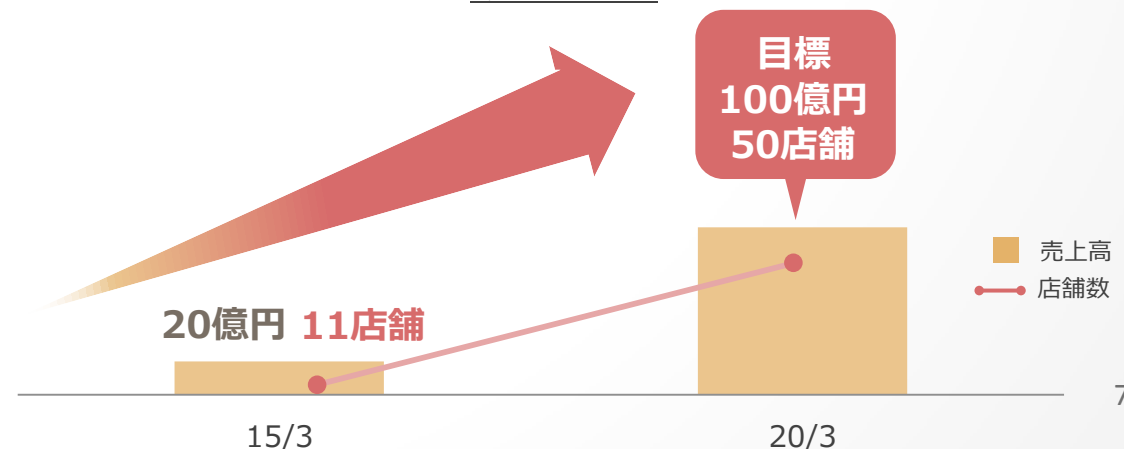
シェア (建築業界)	区分	店舗規模	商圈人口 20万人	商圈人口 30万人
7%	圧倒的トップシェア	100坪以上	5億円/年	7億円/年
5%	地域No.1シェア	70～100坪程度	4億円/年	5億円/年
3%	地域トップクラスのシェア	50～80坪程度	2億円/年	3億円/年
1%	存在シェア	40～60坪程度	8千万円/年	1億円/年

RD-VC

※Reform Depot
- Voluntary Chain

- 1.本部と加盟店が**一対一の契約**で成立
- 2.加盟店同士の**横のつながりが可能**
- 3.原則**テリトリーを定め**、地域密着とする
- 4.事業者の**独立性を維持**しながら、必要性の高いマニュアルを中心とした展開を推奨する
- 5.独立した**店舗経営者**として遂行
- 6.取扱アイテムなどの**制限は受けない**

今後の展望

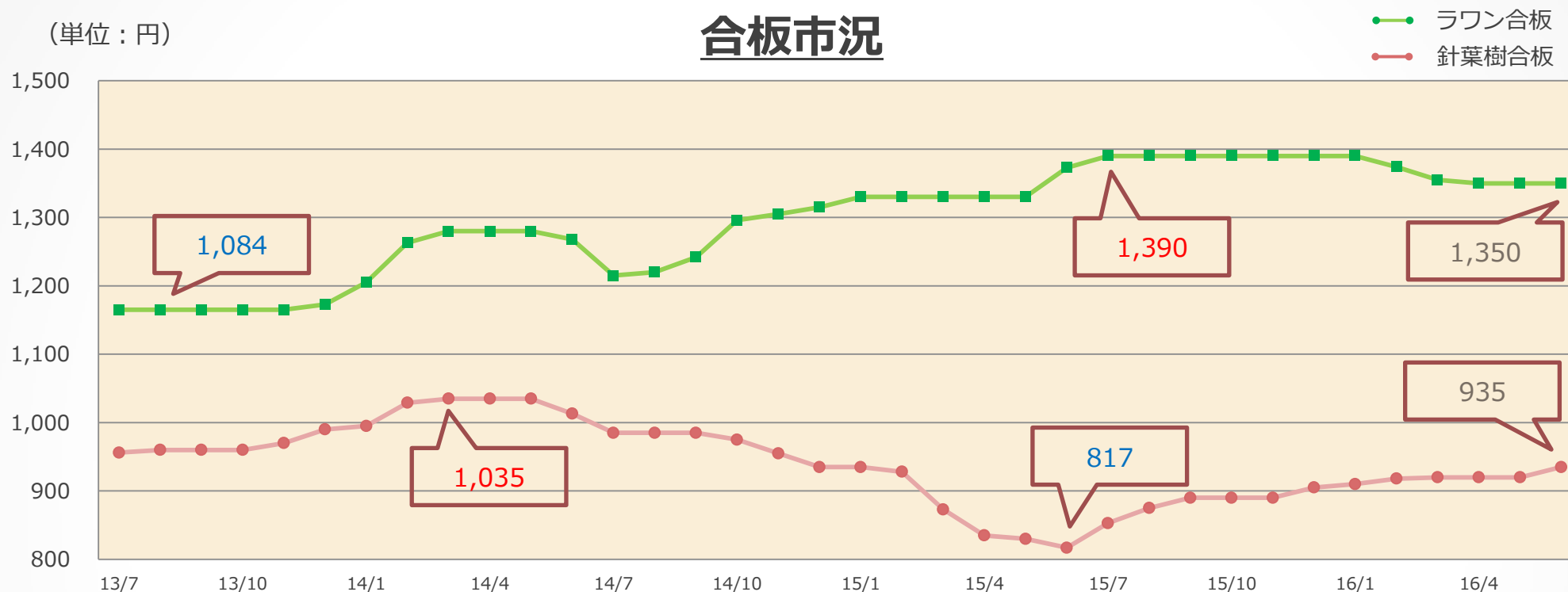


2017年3月第1四半期 決算概要

(1) 事業環境 - 合板市況と為替レート推移

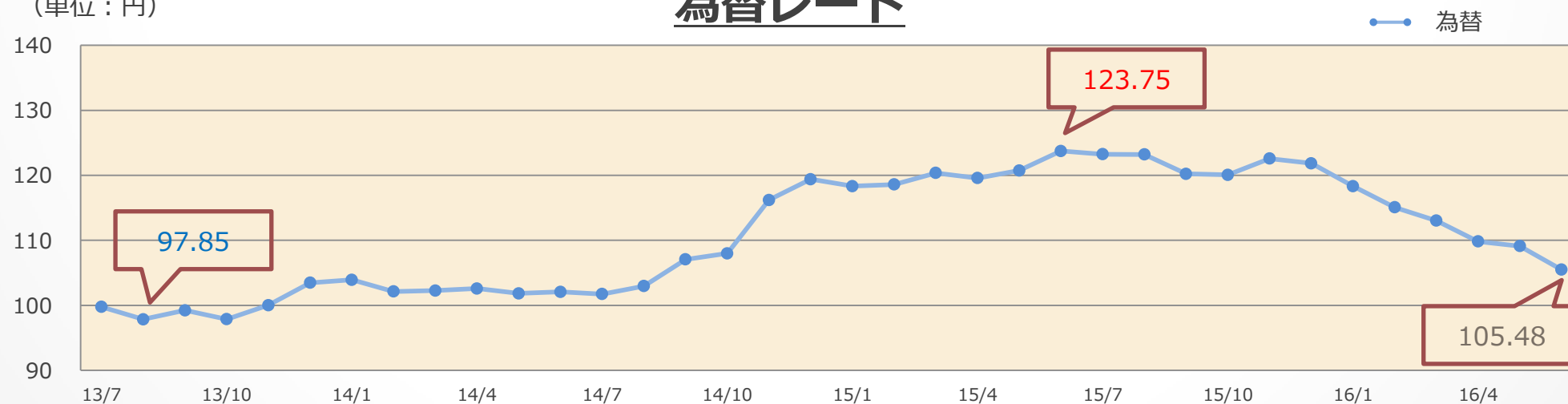
(単位：円)

合板市況



(単位：円)

為替レート



(注) 三菱東京UFJ銀行 公表相場仲値参照

(2) 業績サマリー

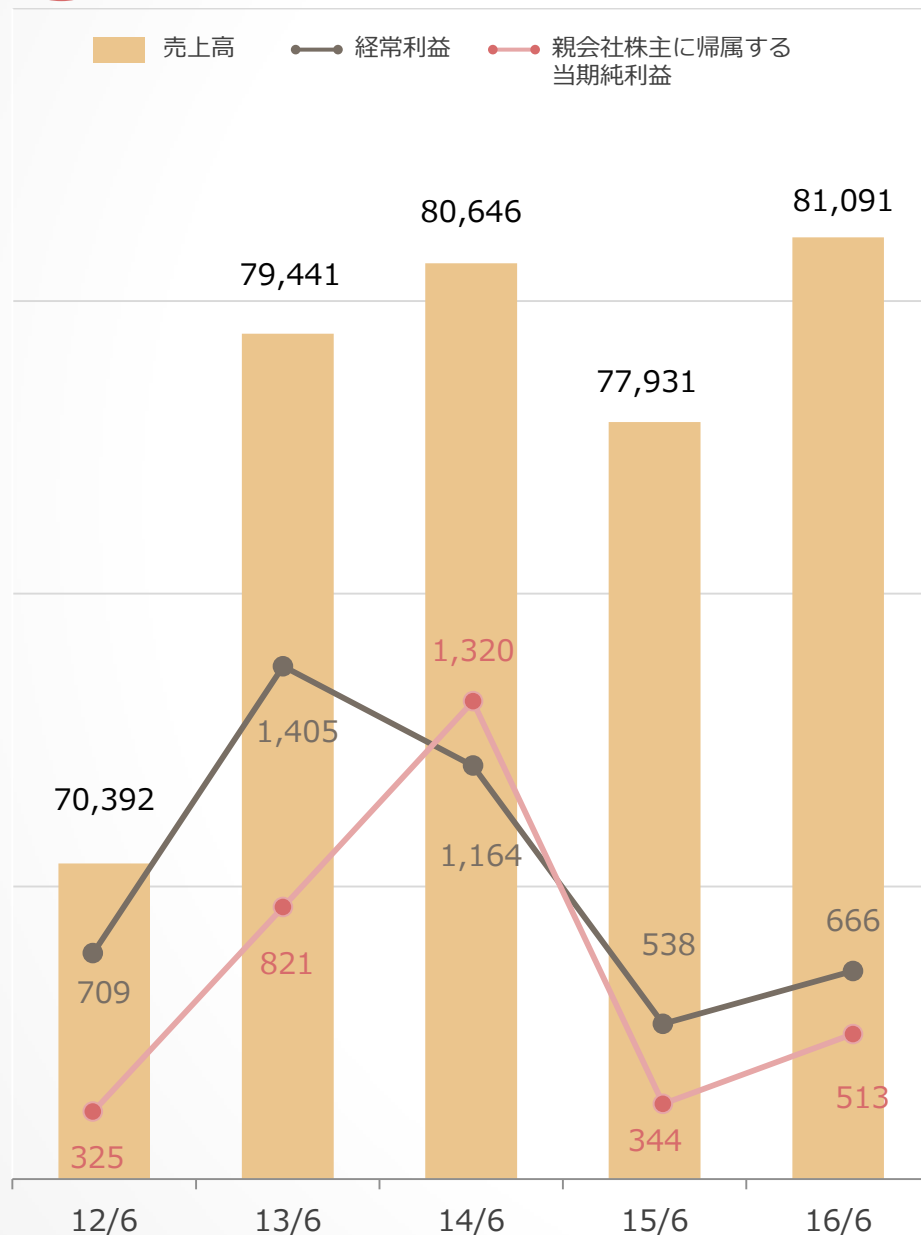
■売上高	81,091百万円	:	前期比	4.1%増
■営業利益	740百万円	:	前期比	28.8%増
■経常利益	666百万円	:	前期比	23.9%増

(百万円)	17年3月期	16年3月期	増減比率 (%)	17年3月期		16年3月期
	第1四半期 実績	第1四半期 実績		第2四半期 計画	通期 計画	通期
売上高	81,091	77,931	4.1	166,000	340,000	330,280
売上総利益	7,875	7,300	7.9	-	-	31,452
売上高総利益率(%)	9.7	9.3	-	-	-	9.5
営業利益	740	574	28.8	2,100	4,600	4,088
営業利益率(%)	0.9	0.7	-	1.2	1.3	1.2
経常利益	666	538	23.9	1,900	4,300	3,887
経常利益率(%)	0.8	0.6	-	1.1	1.2	1.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	513	344	49.1	1,100	2,500	2,343
当期純利益率(%)	0.6	0.4	-	0.6	0.7	0.7
EPS (円)	16.3	10.9	-	34.5	78.5	74.4
DPS (円)	-	-	-	7.0	15.0	15.0
ROE (%)	-	-	-	-	-	7.4

(3) 業績の推移

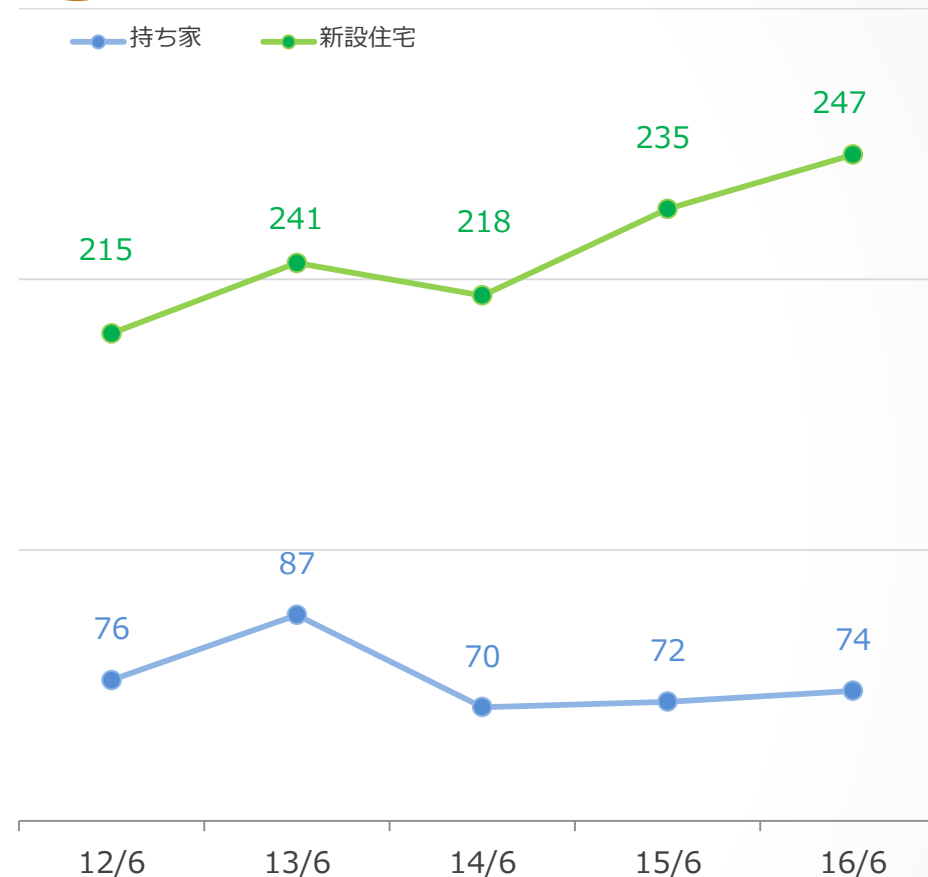
業績

(単位：百万円)



住宅着工

(単位：千戸)

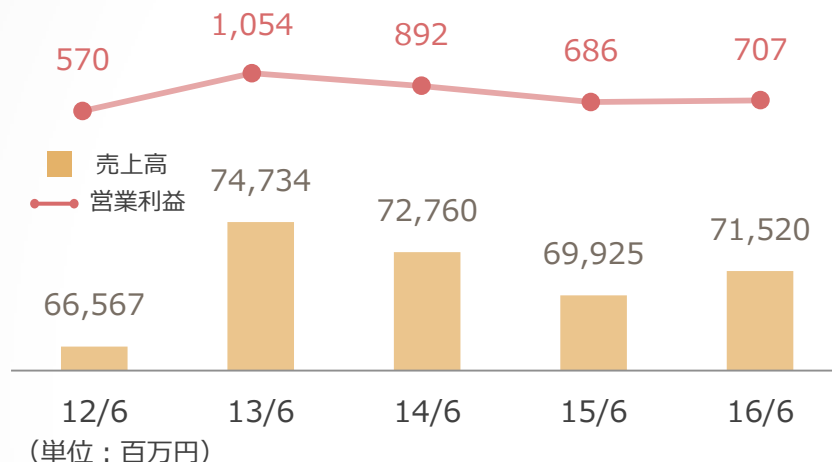


(千戸)	通期				
	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3(予想)
新設住宅着工戸数	893	987	880	920	944
持ち家住宅着工戸数	316	352	278	284	303

(4) 事業別の売上高・営業利益推移

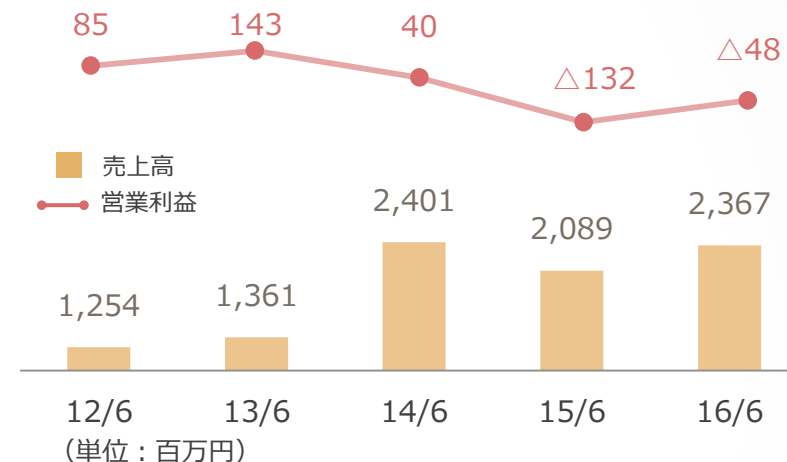
① 総合建材卸売事業

合板の需要への対応に難しい舵取りが求められたが、合板を含め、建材、住器機器等も住宅建材についても、総じて市場の伸びと同程度の拡大を図ることができた。



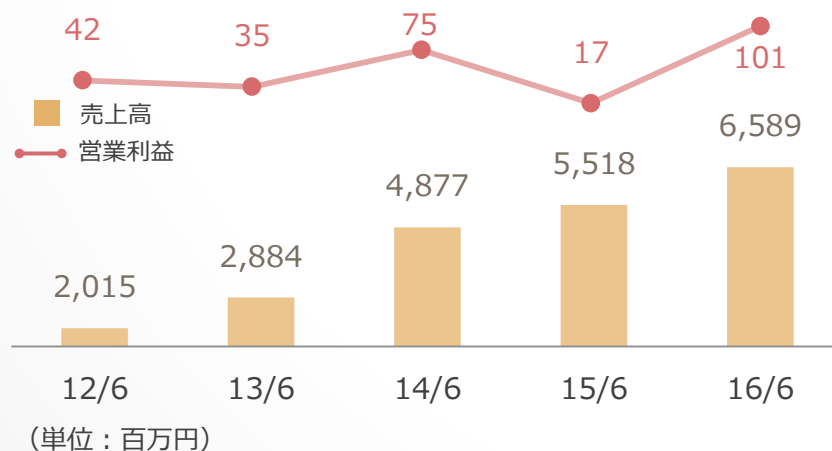
② 合板製造・木材加工事業

合板製造は原木価格の上昇によるコストアップを十分転嫁できず苦戦。木材加工事業も会社により業況にばらつきがみられ苦戦。

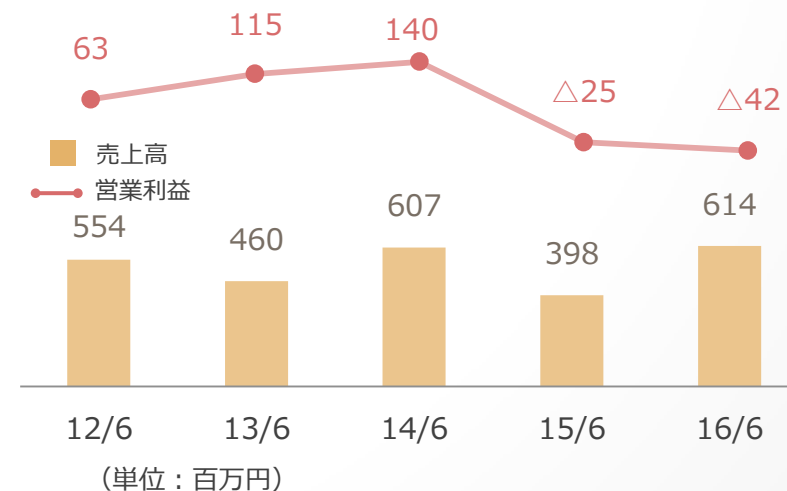


③ 総合建材小売事業

統合等により規模が拡大し売上げ増加。採算面も大きく改善できた。

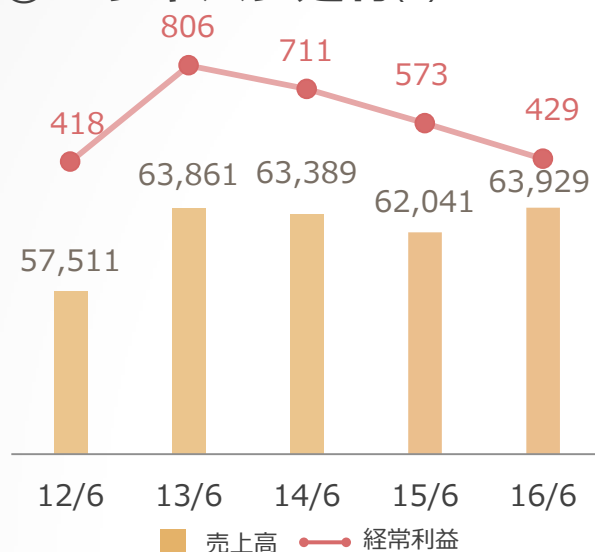


④ その他



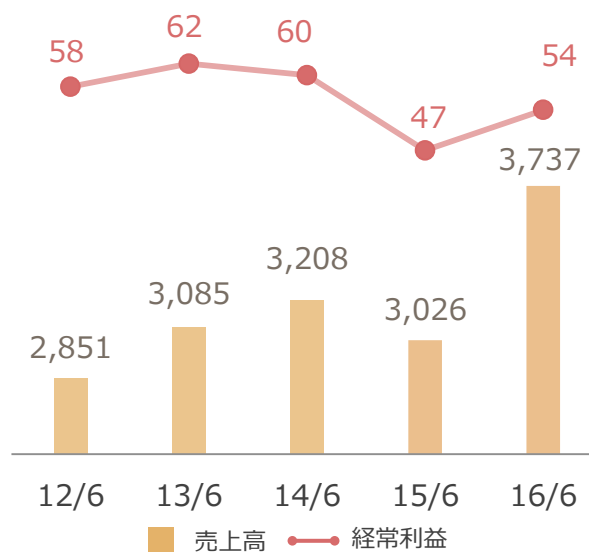
(5) 主要連結子会社の業績推移

① ジャパン建材(株)



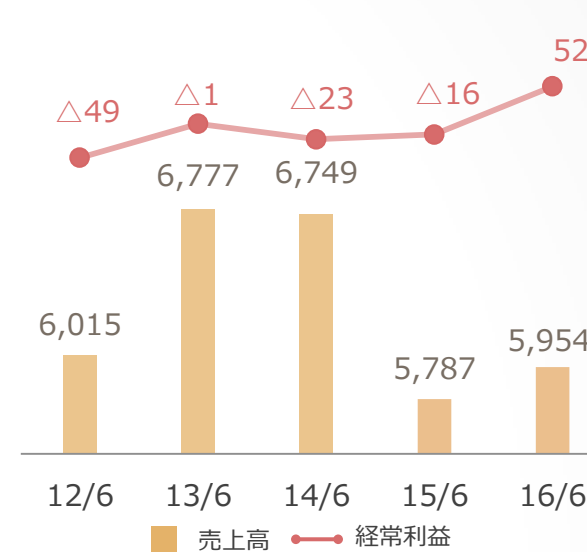
(単位：百万円)

② 通商(株)



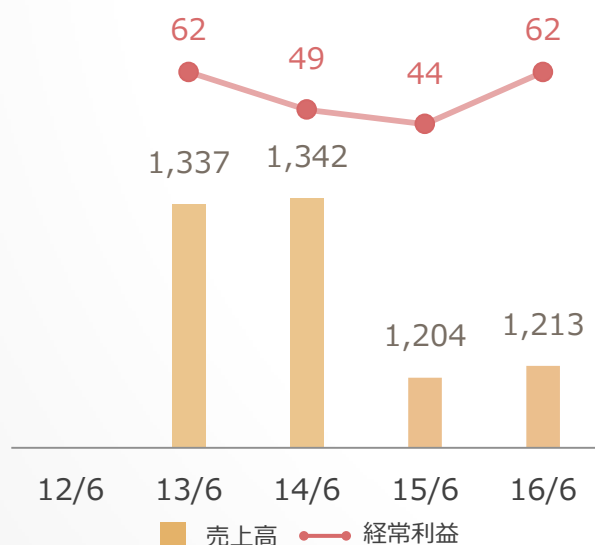
(単位：百万円)

③ 物林(株)



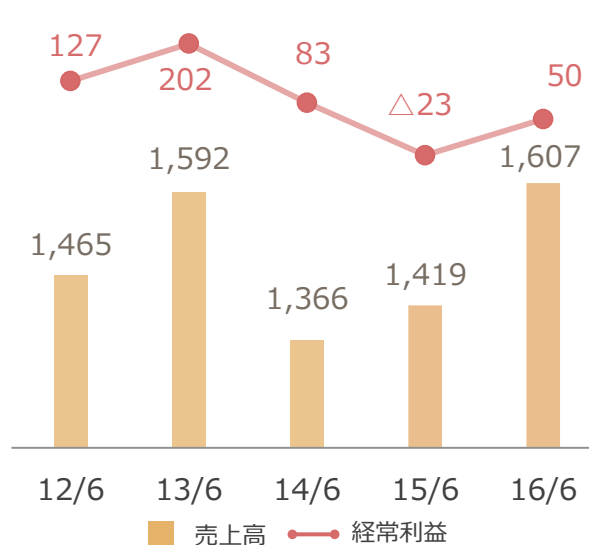
(単位：百万円)

④ (株)銘林



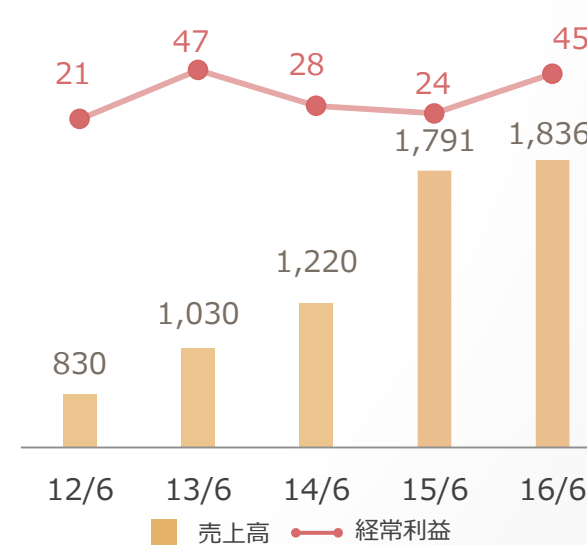
(単位：百万円)

⑤ (株)キーテック



(単位：百万円)

⑥ (株)HD関東



(単位：百万円)

(6) 連結B/S、キャッシュ・フローの状況

貸借対照表

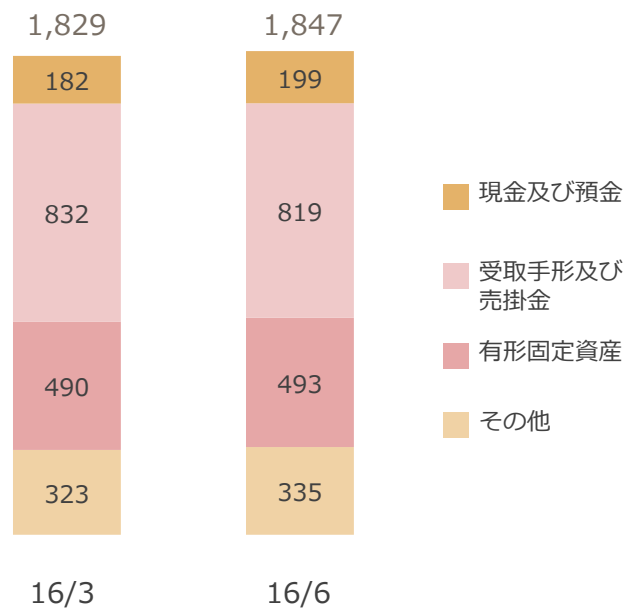
流動比率（倍）



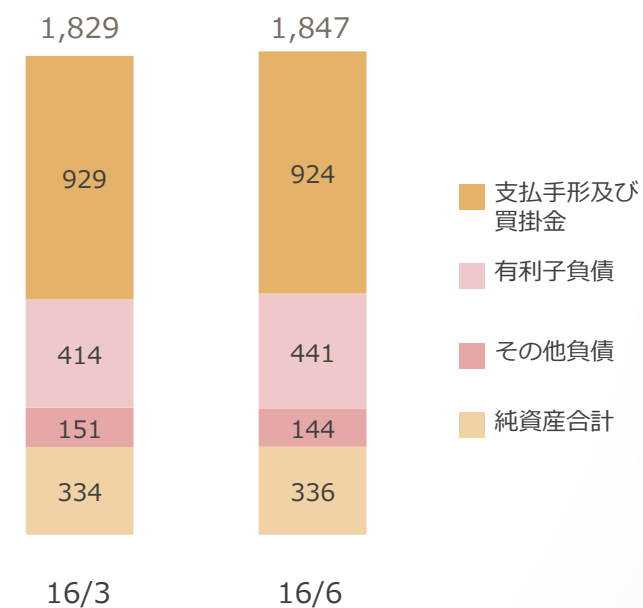
自己資本比率（%）



資産



負債・純資産



（単位：億円）



補足資料

(1) 環境対応ビジネス

木の温もりを 人に、街に、未来に。

時代は木質構造へ。時代は私たちの手で。

再生可能で環境にやさしい資源として注目を集める木材。

木は温かみある質感で人を癒すだけでなく、耐久性、意匠性などにも優れた自然素材です。

林業振興の視点からも木質構造は見直され、平成22年に施行された「公共建築物等 木材利用促進法」では、国が率先して公共建築物（低層）の木造化を打ち出しました。

伐採期を迎えた森林資源を有効活用することは、新たな植林、森林の育成につながり、CO2の削減（吸収・固定）、地球温暖化の抑制に貢献します。

国による木材利用促進をきっかけに、一般の建築物でも木造・木質化への機運が高まっています。

木質構造の時代を迎えたいま、その可能性を切り拓き、未来に広げていくことが私たちの使命。

木材とともに歩んできた長年の経験、豊富な実績とノウハウを活かし、みなさまの木質構造建築をサポートいたします。



(2) 環境への取り組み

MOTTAINAIキャンペーン (Next LOHE)

植林運動を支援する為、ジャパン建材フェアにてブースを設置、オリジナルTシャツ・エコバックなどのチャリティー販売を行っております。

Next LOHE（ネクストロエ）主催の「もったいないキャンペーン」は、エコ意識の啓発と社会貢献活動という目的で多くの場で活動への理解を訴えてきました。ジャパン建材(株)もそんなNext LOHEの活動を応援しています。

緑の募金 (ダイードリンコ)

ジャパン建材(株)は、全国の営業所にダイードリンコの自動販売機を設置し、地球温暖化防止対策の一環として、緑の募金自動販売機設置活動を推進しております。

またジャパン建材フェアでも毎回会場内に自動販売機を設置し、売上の一部を募金しております。



緑の募金自販機のシステム



緑の募金自販機が設置されている
全国のジャパン建材事業所



(3) 女性の活躍推進



スマイルが生まれる住まい
JK Holdings Co., Ltd.

取り組むきっかけ

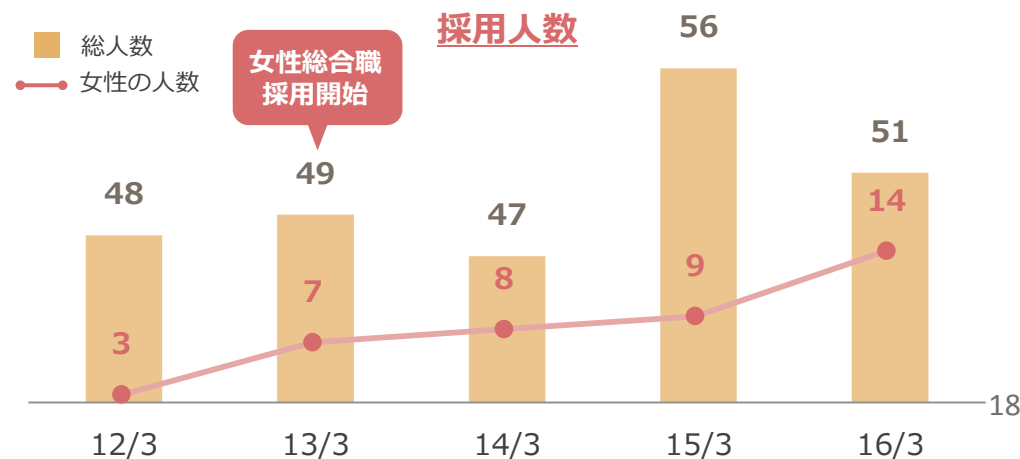
JKグループが、国内外で事業を永続的に展開していくためには、社員が性別・年齢・国籍に関係なくよりイキイキと長く働ける環境を整える事が、緊急かつ重要な経営課題であると考えます。女性社員の活躍推進に力を注ぎ、仕事と家庭の両立支援制度や、ワーク・ライフ・バランスの取り組みを全社で行い、多様性を企業の礎とするべく、推進に取り組んでいきます。

活動状況

- ・ 2016年度より一般職採用を廃止し、全員総合職採用へ
- ・ エリア限定勤務制度の導入
- ・ 女子社員を対象とした研修を導入
- ・ ハラスメント防止のために、定期的な研修や調査を実施するとともに相談窓口を設置

etc...

女性総合職研修の様子



厚生労働省公式サイトに
JKホールディングス(株)の取り組みについて掲載！

POSITIVE ACTION

(<http://www.positiveaction.jp/pa/index.php>)

両立支援のひろば

(<http://www.ryouritsu.jp/>)



スマイルが生まれる住まい

JK Holdings Co.,Ltd.